

## 【事業実績】

柳川への交通アクセスの1つとして利用されることが多い、西鉄電車の観光特急「水都」で配布される、初代柳川藩主立花宗茂ゆかりの文化財を紹介する乗車記念カードと、柳川市内に点在する文化財(名勝)・文化施設を、現地にてモバイルガイドとして利用できる形式をめざし、《城下町柳川と武家文化》を発見・体験できるテーマのもと、わかりやすく解説するWeb展示を、Googleプラットフォームを利用して作成、多言語化し、さらに日本語・英語の音声ガイドを作成した。

とくに、「水都」乗車記念カードなどの音声ガイドについては、初代柳川藩主立花宗茂自身が説明する形式で作成して、《城下町柳川》への期待感を高めるとともに、楽しみながら柳川の歴史を予習できるよう工夫した。またこれらのコンテンツを誰もが活用しやすくするためのweb目次を修正した。

- 1 Web展示「城下町柳川」「柳川藩主立花宗茂ゆかりの文化財-西鉄『水都』乗車記念カード」の作成
  - (1) 三者会議により内容を決定し、各施設学芸員が各解説文を作成することで、三者内での柳川文化資産データベースの共有が深まり、異分野の専門家が協議することで、わかりやすく効果的な解説文の表現が可能となった。

※想定される利用者数・観光案内ツールとして汎用性を考慮して、柳川市内の文化財を解説する「城下町柳川」「柳川藩主立花宗茂ゆかりの文化財-西鉄『水都』乗車記念カード」の作成を優先して実施。
  - (2) 英語解説文を作成にあたり、英語翻訳を担当する事務員との協議を実施し、日本語母語話者以外への補則解説を追加したが、これは他言語翻訳時にも有効であった。また、英語解説文で採用した簡易な表現を、学芸員が作成した各解説文に反映させてより分かりやすい表現を追求。
- 2 Web展示「城下町柳川」「柳川藩主立花宗茂ゆかりの文化財-西鉄『水都』乗車記念カード」の多言語化
  - (1) 作成したWeb展示を韓国語・中国語(繁体字・簡体字)へ翻訳、いずれも日本語原稿の分かりやすさが必要不可欠であるため、日本語母語話者以外への補足解説を追加した。

◎作成した解説・多言語訳や画像データはGoogleプラットフォームに蓄積され、これまでの成果とともに今後はWeb上で簡易にアクセスが可能なデータベースとしても活用される。
- 3 音声ガイド(日/英)「城下町柳川-宗茂ボイス」「柳川藩主立花宗茂ゆかりの文化財-西鉄『水都』乗車記念カード」の作成および「近世大名立花家の名宝」の追加作成 **\*別添の音声記録媒体を参照**
  - (1) モバイルでの活用が早急に望まれるWeb展示「城下町柳川」「柳川藩主立花宗茂ゆかりの文化財-西鉄『水都』乗車記念カード」の音声ガイドを作成。初代柳川藩主立花宗茂自身が説明する形式とすることで、《城下町柳川》への期待感を高めるとともに、楽しみながら柳川の歴史を予習できるよう工夫した。これらはWeb目次にて「城下町柳川」としてまとめて提示する。

### 宗茂ボイス例) 金箔押桃形兜

戦場で儼の側に控える親衛隊全員が、揃いで着用した兜がこれじゃ。当世でも立花家史料館に200頭以上が残されておるぞ。側面が桃の形に似ている鉄製の兜で、錆を防ぐために金箔が貼られておる。立花家では「金甲」とよばれておる。実父・高橋紹運様と養父・戸次道雪様は共に大友家の重臣であった。西洋甲冑の影響をうかがわせる形をした桃形兜には、16世紀後半、戦国の日の本において、南蛮文化をいち早く取り入れた大友家の家風が感じられるのう。

- (2) 平成31年度作成の音声ガイド「近世大名立花家の名宝」を補足充実させるため追加して音声ガイドを作成、補充した。

## ◎Google プラットフォームの利点 1

スマートフォン・タブレット等のモバイルで Google プラットフォームが利用でき、電車内や現地においてカードや文化財を見ながら Web 展示（多言語）および音声ガイドを楽しめる。



▲参考）平成 31 年度成果物の利用状況

## ◎Google プラットフォームの利点 2

Google 社のローンチが必要であるが、その後は簡易に補足・訂正が可能であるため、利用者の声を反映させた内容の充実が進められる。また動画も掲載可能であるため、これからは Web 展示の活用の範囲を広げる試みも実施する。

## 4 Web 目次《城下町柳川と武家文化》の追加・再構成

(1) Google プラットフォームには利点が多いが、本事業の成果物へのアクセスが分かりにくいという課題があるため、各コンテンツを有機的に連結して、利用者が活用しやすくなるよう追加・再構成をおこなった。

**Web 目次リンク** : <http://www.tachibana-museum.jp/yanagawa/>

### ■利用者の感想

- ・柳川市内を歩きながらモバイルガイドとして利用できるのは、便利で使いやすい。
- ・ボランティアガイドを務める際に、より詳しい解説ができるようになった。多言語もあって助かっている。

### ■成果および今後の課題

今年度は民間企業が提供している西鉄観光特急『水都』で配布されている乗車記念カードに直結した Web 展示（多言語化・音声ガイド付）を作成することで、地元企業とも連携するための第一歩が踏み出せたとともに、文化財を観光資源としても有機的に活用できるようになった。

本事業で作成して蓄積されてきたデジタルコンテンツは、Google プラットフォーム上で組み替えて、Web 展示を自由に作成できるため、テーマ・場面に合わせたモバイルガイドとして活用できる。今後も世相に合わせたコンテンツの

充実・修正を継続したい。これからは、平成 31 年度に作成したバナーや QR コードなどを最大限に利用して Web 目次の周知・広報に努めるとともに、随時、利用者の声をコンテンツへ反映していきたい。



(参考画像：西鉄『水都』乗車記念カード)